

Youngbuilder

ヤングビルダー

東京土建一般労働組合府中国立支部 青年部 第39号(2011年5月24日発行)発行責任者 三浦康廣

「八郎」と「雨にも負けず」への思い。

青年集合☆



甲田直己書記長

3・11の大震災の後、青年部会に向けて「八郎」提案の手紙を書いたのは3・16でした。

それだけでは意図が伝わらず、三浦部長に八郎の絵本を読み、平原さんにも協力してもらい、改めて青年部会にも出席して製作決定にこぎ着けたのでした。

「八郎」は齊藤隆介さん作滝平二郎さんの絵のコンビによる初期の絵本で、八郎という大男が身を挺して海を鎮め、寒風山と八郎湯ができたという民話です。

「自分の役割はみんなの役に立つことだったんだ」というセリフが泣かせるのですが、教科書好きなので、大人になって納得する話かもしれません。

私も八郎のことはすっかり忘れていましたが、昨年ある保育園で先生方が高さ3mもある八郎のねぶたを作っているのをたまたま見学し、今回の震災でのメッセージを考えたとときに、「八郎」と「雨にも負けず」が結びついたという訳です。

10日少々であれだけの精度のものをよく作ったと思います。関谷君の毛は画龍点毛でしたね。

思いをこめたメーデーデコを毎年作り、思い出を重ねることは幸せなことだと思います。

初めに、今回のデコレーションは中止の予定でした。地震直後は停電や余震があり、仕事も多忙だったため、まともに作業が出来ないと思われたからです。

しかし、書記長の甲田さんと青年部の話し合いで急遽作成することが決まり、急ピッチで作業することになりました。

平日は夜8時～10時まで、日曜は朝10時から夕方6時まで、毎日作成しました。

仕事終わりですぐ作業は毎年毎年すごく大変です。それでも、いいこともありました。

疲れた青年部員にたまたま支部に来ていた組合員さんから差し入れなどを頂いたりすることもあり、色々助けてもらいながら完成しました。

結果は残念ながら3年連続での賞は逃しましたが、作成中の仲間との会話、一緒の夕食、組合員さん達との会話など、得るものは大きかったです。



三浦康廣常任執行委員

岩手県出身の宮沢賢治の詩は東北人の気質が良く現れていて、 八郎瀧の民話と重なります。そこで青年部では、 この2つの作品をテーマにデコを製作しました。



教宣部平原部長

青年部の活動について組合員の皆さんに知られていない事が多いと感じ今年のと感し今年のメーデーデコ製作は打ち合わせから参加

させて頂きました。

甲田書記長よりメーデーは年に一度労働者が窮状を訴える場なので明確なスローガンを掲げる必要があると説明がありました。

その上で困難と云われる東日本大震災に対し「我々も応援しています。頑張ってください」と云う強いメッセージを作品に込めてほしいと訴えました。

理解を示してくれた青年部も時間が足りない、完成は無理と云う尤もな意見も、甲田書記長の「未完成でもいいから頑張ってください」の一声で製作が決定しました。

審査は残念な結果に終わりましたが、席上、「なぜ宮沢賢治か、なぜ八郎か」の説明と青年部の仕事場りから夜中迄の奮闘振りを話した処、他支部の審査員からその説明が事前にあれば結果は違っていたよと云われ、教宣部としての責任を痛感しました。

然し、私としては審査の結果よりも甲田書記長の熱い思いを作品に生かし完成させてくれた事にこそ意義があり青年部に対する明るい未来を感じました。

青年部の努力は集約した写真から汲み取って下さい。



④ 渡辺君持参のタッカーで作業は急速!



③ 針金で形を作ります。



② ボーズを調整中の甲田書記長。



① 骨組み開始!



⑧ 色を塗る渡辺書記と三浦部長。



⑦ 色合わせは神崎書記次長。



⑥ のりで紙を貼り付けて整形。



⑤ 針金で作った髪の毛と指を取り付けます。



⑪ 頭髪があごひげに早変わり。



⑩ 関谷君の断髪式。髪の毛は…?



⑩ 野上君が色仕上げ。



⑬ 主婦の会飯村さんと平原さんによる衣装合わせ。



⑫ いざ、出陣!



⑭ 甲田書記長魂入れ。



新しい青年部の仲間。デコ製作から事業所分會として参加の北村君が青年部の副部長として加わります。宜しくお願いします。



7月9、10(土、日)本部青年部主催のサマーカーニバルを千葉県野田市「清水公園キャンプ場」にて行う予定です。
公園にはアスレチックなどもあり、子育て世帯の皆さんにびつたりですのでぜひご家族、お知り合いの組合の皆さんをお誘い合わせの上、ご参加下さい!